

平成31年2月13日 第7号

やはすの風

北九州市立門司総合特別支援学校
校長 奥田まさ子

◇製品販売会がありました

1月25日（金）、製品販売会がありました。知的障害教育部門中・高等部の生徒たちは、「製品販売会を成功させよう」と、作業学習での製品の製作、呼び込み・販売・会計の練習、ポスター等の製作、会場準備などに、先生方と一緒に一生懸命取り組んできました。



当日は、体育館を会場として、学部全員が力を合わせて、自分たちが製作した製品や観葉植物の苗、野菜とその加工品などを販売しました。

中学部は農業、手工芸、木工の製品を、高等部は農園芸、手工芸、紙工、木工、食品加工の製品を販売しました。会場では、生徒たちの活気あふれる呼び込みの声や接客が販売会を盛り上げました。また、高等部による喫茶「かもめカフェ」が保健室前ホールに開店し、喫茶サービスの学習の成果も披露しました。加えて、パン工房で作った出来立てパンの販売も行われ、整理券を発行するほどの賑わいでした。

当日は、北九州市教育委員会の垣迫教育長が来校され、生徒たちの頑張りをご覧になり、製品を購入してくださいました。

10時から、本校児童の買い物学習が行われました。10時40分からは、保護者の皆様に加え、地域の中学校の生徒・教職員の皆様、放課後等デイサービスの事業所や小森江西市民センターの皆様など、地域及び関係機関の方々が多数来校していただき、会場は熱気であふれていました。

生徒たち一人一人が、心をこめて作った製品をお客様に紹介し、笑顔で丁寧に接客している姿は、日頃の学習の成果が生かされた、すばらしいものでした。

保護者や地域の皆様と「直にふれ合う、販売する」という経験は、生徒たちにとって貴重なものです。生徒たちは、「働く喜び」を実感したことと思います。おいでくださった皆様、どうもありがとうございました。



◇特別支援学校生徒雇用促進セミナーが開催されました

1月16日（水）、北九州中央高等学園を会場に、北九州市教育委員会主催「特別支援学校生徒雇用促進セミナー」が開催されました。このセミナーの目的は、①高等部の生徒が日頃の学習で身に付けた職業技能の成果を企業等の方々に発表することで、将来に向けた就労意欲を高める。②参加企業等が、生徒たちの技能等を知ること、障害者雇用への理解を深め、就労の促進を図るという2点です。



当日は、高等部を設置している特別支援学校（門司総合特別支援学校、小倉北特別支援学校、小倉南特別支援学校、小池特別支援学校、八幡特別支援学校、北九州中央高等学園）の生徒たちが、自校の作業学習の様子を紹介しました。

本校は、食品加工とビルメンテナンスの実演を行うとともに、パネル掲示と製品展示により作業学習（農園芸、手工芸、紙工、木工）の様子を紹介しました。40社の企業等の方々が、各校生徒の発表を熱心に聞いてくださいました。

◇小・中学部新入生説明会を行いました

2月4日（月）に、知的障害教育部門小・中学部新入学・転入学説明会と、病弱教育部門中学部新入学・転入学説明会を行いました。

中には、慣れない学校に少し緊張気味の子どももいましたが、4月の入学式と始業式には、笑顔で門司総合特別支援学校に来てくれることを心待ちにしています。

◇規則正しい生活をして、元気な体をつくりましょう

今年は、インフルエンザが大流行しています。依然として全国的に警報レベルを超えており、引き続き感染対策に取り組んでいく必要があります。本校でも、健康観察を毎日丁寧に行うとともに、手洗い、食後の歯磨き、室温・湿度の管理、風邪の際のマスクの着用などに気を付けています。

皆さんは、外から帰った時、うがいや手洗いを続けていますか。

早寝・早起きをしていますか。

朝・昼・夕の食事をしっかりとっていますか。

気温に合わせて、衣服を調整していますか。

適度な運動を心掛けていますか。

将来、自分の力を生かして働いたり生活したりするためには、元気な体をつくるのが何より大切です。

毎日の生活に気を付けて、元気な体をつくりましょう。

